

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表(公表)

公表: 2024年 2月 15日

事業所名: ともサポート教室「きらり」福岡空港校

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		○		パーティションにて区切っているが、声が聞こえる為、支援時間を工夫しています。 利用人数によっては狭い部屋での支援になる事も時折あるため今後も配置などを検討していきます。
	②	職員の配置数は適切であるか		○		人員は規定人数以上確保していますが、時間帯や送迎などによっては、人員不足になる場合がある為、人員配置を工夫しています。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか			○	トイレ等や玄関の段差は改善の必要がある状況です。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			定期的に話し合いを実施し、その子にあった支援が充実出来るように努めています。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			年に一度保護者アンケートを実施し、改善を図っています。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページにて公開しています。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	第三者による外部評価は現在行っていません。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか		○		発達支援研究所の研修参加、ブロック単位での研修など年間計画に沿って受講しています。ただ、確保できるように努めてはいるが、支援などで皆が毎回受けられない場合もあるので、その際は、動画視聴や報告書の回覧などで全職員に周知できるようにしています。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			フェイスシート、アセスメントシートを活用し、ニーズの探り出しを行っています。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			全利用者様へ統一したアセスメントを行っています。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			支援の方向性を話し合うモニタリング会議を行っています。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			六か月に一度は個別支援計画の見直しを行い、利用児に合わせたプログラムを立案するように工夫をしています。

	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○		休日や祝日長期休暇の際は、イベントを企画したり、課題の量なども調整しています。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		統一したアセスメントツールを使用しています。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		毎朝就業開始前に朝礼を実施し、職員間での打合せ、役割について確認を行っています。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		毎日終礼を行い、その日の支援で気付いた点、保護者様からの話などの共有を行っています。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		支援記録は当日中に記入し、モニタリングの資料として活用しています。
	⑱	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		六か月に一度モニタリングを行っています。また、随時計画が見直しが必要であれば職員間で共有しています。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○		今一度ガイドラインの確認を行いたいと思います。
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加しているか	○		まだ会議経験が浅い職員もいるため、経験を増やしていきどの職員でも対応することが出来るようにしていきます。
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○		学校との直接的な共有は少ないですが、下校時間や行事予定に関しては保護者様と共有するようにしています。 送迎時の対応やトラブルの発生の連絡は、すぐにお伝えするようにしています。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○	保護者様に確認は行っていますが、主治医との定期的連絡は行ってないため、今後行っていききたいと思います。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		保護者様から情報は得ていますが、保育所等は少ないため、今後行っていききたいと思います。保育所等訪問支援を実施しているので、一部の園さんとの情報共有は実施しています。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○	現段階では、そういったお子様の利用がないため、今後利用の事も想定して情報収集などを行っていききたいと思います。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		現時点ではそういった情報共有はあまり行うことが出来ていないので、今後は行っていき、支援に生かせるようにしていきたいと思います。

	②⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか				○	地域との関わりは少しありますが、児童館との関わりはありません。今後、関わっていくことが現段階では難しいため、そういった機会が出来たときにはまたお伝えしていきたいと思います。
	②⑦	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか				○	児発管が主に参加し、その後職員の方で共有などを行っています。
	②⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか				○	その日の支援の内容などを伝えるフィードバックの時間を設けています。今後は支援の内容だけでなく家庭や学校等での様子も聴取していきたいと思います。
	②⑨	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか				○	フィードバック時や面談の際などお困り事や相談があった場合には必要な助言は行っていますが、活動としては不十分だと思います。今後保護者様からのニーズに沿って十分に検討していきたいと思います。
保護者への説明責任等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか				○	契約の際に、書面と口頭にて説明を行っています。
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか				○	事業所内相談、家庭内相談の体制も整え、保護者様とお話する時間を設けるようにしています。
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか				○	今年度二回目の保護者会を開催し、様々な年代のお子様を持つ保護者様に参加して頂き、情報共有やお悩みなどとても有意義な時間を設ける事が出来ました。今後も開催を継続していければと思っています。
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか				○	保護者様からの相談や申し入れを受けやすい体制を整えており、迅速に改善策を打ち出すよう心掛けています。
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか				○	事業所内の公式ラインで活動の様子を発信したり、月二回ホームページにてブログを更新しています。
	③⑮	個人情報に十分注意しているか				○	鍵付きのキャビネットに個人情報を保管し、パソコンについても終業後は必ず収納しています。
	③⑯	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか				○	書面やラインにて情報の伝達出来る体制を整えています。
	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか				○	○ 地域住民の招待などは行っていません。

非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○		マニュアルを作成し月一回訓練を実施。利用予定表に日程を記載し、保護者様に周知しています。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		年間計画を立て、月に一回防災訓練を実施しています。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		法律に則り、行政や社内での研修など虐待防止に関する知見を深めています。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		重要事項説明書に身体拘束についての事項を明記し必要に応じて個別支援計画への記載を行っています。また、身体拘束同意書必要なご家庭に署名押印をして頂き保管をしています。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		アセスメント時にアレルギーについては慎重に聴取し、徹底した対応を心がけています。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		その都度作成をし、職員間で共有をしています。

保護者等向け 放課後等デイサービス評価の集計結果(公表)

公表：2024年 2月 15日

事業所名: 子どもサポート教室「きらり」福岡空港校 保護者等数(児童数): 23 回収数: 22 割合: 95.7 %

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見、ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	16	6	0	
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	21	1	0	
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	13	9	0	<p style="color: red;">〈ご意見〉 わからない。 今後は事業所の設備・環境についての写真や全体図などをわかりやすく、掲示していきたいと思います。</p>
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画 ¹ が作成されているか	21	1	0	
	⑤	活動プログラム ² が固定化しないよう工夫されているか	22	0	0	
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	5	15	2	<p style="color: red;">〈ご意見〉 交流があるのかわからなかったため、どちらともいえないにしています。 希望するなら各家庭で交流する機会を作れば良いと思う。事業所では時間的に難しいだろうし、事業所利用外の子供を怪我させたりなど責任問題等出てくるから、交流する機会は設けないでほしい。 具体的にわからないため。 今後は完全個別の支援となっていくため、他事業所のお子様との交流を取るための時間を捻出していくことが難しくなるかと思ます。また、上記のような問題等も出てくることも考えられるので、現時点で実施することは難しいです。</p>
保護者への説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	22	0	0	
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	22	0	0	
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	22	0	0	

	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	19	3	0	
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	18	4	0	
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	22	0	0	
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	22	0	0	
	⑭	個人情報に十分注意しているか	21	1	0	<p>〈ご意見〉</p> <p>わからない。</p> <p>個人情報等に関しては終業後に鍵付きのキャビネットの方にしまうことを徹底しています。</p>
非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	18	4	0	<p>〈ご意見〉</p> <p>マニュアル化はされていると思うが提示はないように思う。</p> <p>マニュアルに関しては掲示はしていますが、事業所の隅にあるため、掲示場所を変え周知できるようにしたいと思います。</p>
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	22	0	0	
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	21	1	0	
	⑱	事業所の支援に満足しているか	22	0	0	

i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

ii 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。